

北青会

HOKU SEI KAI



★★★★★leadership&pioneership★★★★★

今期テーマ

「勇往邁進」

— 新たな一歩を踏み出す —

社団法人 北九州青年経営者会議



〒806-0006
北九州市八幡西区屋敷2丁目14-34
TEL(093)863-0157
FAX(093)863-0404
E-mail: mail@hokuseikai.com
URL: http://www.hokuseikai.com



会長挨拶

第51期会長 上野秀信

(51期)

今年度四月より(社)北九州青年経営者会議51期会長の努めです上野秀信と申します。

この北青会の門を叩き、今期で足掛け17年となります。

はじめに、この度の東日本大震災と大津波に被災されました皆様方に心よりお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられました方々への御冥福を心よりお祈り申し上げます。

今期の事業内容といましては、継続事業の更なる改革を進めていきつつ、新規事業の取り入れも視野に入っております。

北青会は北九州地域に根付いた社会奉仕活動を行って参りました。しかし、この度の日本を揺るがす大震災につきましては私達、青年経営者団体として、特定地域のみならず幅広い目線で、今の日本そして被災地の方々に何が出来たのかを皆で話し合い行動していきたいと思っております。

そして、一日も早い被災地の復興を重ねてお祈り申し上げます。

9月には北青会600回目の例会を記念講演特別例会として盛大に開催したいと思っております。

最後にありますが、今期一年間当会の基本理念でもある、リーダーシップ、パイオニアシップ、社会への奉仕を遂行し地域社会の発展に繋がるよう北青会会員一同勇往邁進いたします。

また、前期に行いました北青会50周年記念事業におきましては行政、関係諸団体、地域の方々、北青会OB諸先輩方の、多大なる御協力を戴きありがとうございました。

半世紀を過ぎた51期ですが、北青会の伝統を守りつつ、新しい時代変革の中で変わらなければいけないものは変えていくとして、今期のテーマ「勇往邁進」一歩を踏み出すを胸に掲げて会長として一年間、北青会同士諸君と共に貫く所存であります。

また、二年後に迫りました、公益法人取得につきましては最善の準備を進めていき、北青会が最も良い方向に進める道標を残したいと考えております。

改めまして皆様方の御支援、御協力を昨年同様、北青会51期体制に宜しくお願い申し上げます。

この場をお借り致しまして改めて御礼申し上げます。

まず、私事からでございますが、弱冠23歳に

また、我々の事業の柱として社会貢献事業があります。

改めまして皆様方の御支援、御協力を昨年同様、北青会51期体制に宜しくお願い申し上げます。



副会長
伊藤 泰昭
(51期)

51期副会長・起業祭おどり実行委員長に就任いたしました伊藤泰昭です。よろしくお願い申し上げます。私が北青会に入会したのは46期(平成18年度)3月です。まだまだ未熟者であります。が、会に入会させて頂いたおかげで、いろいろな意味で自分自身が成長していると感じております。今期は、自分がいただいたモノを会員みなさんに譲り渡していきたいと考えております。

このたび東日本大震災の被災にあわれました方々にお見舞い申し上げます。大震災の影響によって、販売に影響がでている会員もいると思います。現在、自粛モードが日本を覆っておりますが、経営の神様といわれる松下幸之助は『堂々と

儲ける』と説いています。その理由は、「利益は、商品やサービスを提供することによって、世の人々に喜ばれ、役に立つたことに対する報酬である。またその利益によって納税もでき、社会の向上発展の一翼も担うこともできる」からです。

大震災の日本や世界経済に与える影響はいろいろとニュースでもいわれていますが、先ずは、北青会会員が「堂々と儲ける」ことによって、地域経済に貢献し、日本、世界経済に貢献していくことになると思っております。

会員のみなさん、今期のテーマである『勇往邁進』していきましょう!!



副会長
阿部 達
(52期)

この度51期副会長を仰せつかりました阿部でございます。上野51期会長を支えてまいりたいと存じます。私事ではございますが、私自身の北青会活動を省みますと、多くの様々な失敗やトラブルを起こしております。委員長、常務理事、専務理事とさせていたたく中で、気が付くと様々な方々に助けていただいていたので、支えるつもりが支えられ助けられの日々だったと思います。

上野会長のテーマ「勇往邁進」は、辞書を引いてみますと「元氣を出してくじけず目的に向かって進むこと」と書かれております。「会員が「委員会」が「北青会」が前進して行きたいことを、おせっかいではなく、自然に背中を押せるような、安心して活動を楽しめるような、そんな支え方を上野会長のもと、努めていければ幸いです。

51期は、今後の北青会の方向性を大きく定める一年だと思っております。



副会長
入船 崇志
(52期)

51期副会長を務めさせて頂きます入船崇志です。今まさに政治、行政、地域、その他様々なコミュニティ、社会全体のあり方が問われているのです。当会も地域経済の発展を担う若き経営者の集団として、改めて「今後目指す姿」について考える必要があるように思います。

この度の震災は東北、関東地方に甚大な被害をもたらしました。未だ大勢の安否が不明であり、また復興には相当の年月を要することが予想されるなか、被災地の方々は恐らく私たちの想像をはるかに超えた不安を抱えていることと思います。当会では昨年度末に募金活動を実施致しましたが、今後も私たちにできる支援活動を継続的に実施していかなければなりません。

この局面は我が国、そして国民ひとりひとりに大きな課題を与えております。今まさに政治、行政、地域、その他様々なコミュニティ、社会全体のあり方が問われているのです。当会も地域経済の発展を担う若き経営者の集団として、改めて「今後目指す姿」について考える必要があるように思います。

まずは、従来にも増してひとつひとつの事業に全力且つ一丸となって臨むことが肝要です。震災支援を展開する一方で、私たちは今期一年を通して地元北九州の「元氣」を支えていかなければなりません。

私は三役のひとりとして、会員諸氏が円滑に活動できますよう微力ながらその土台づくりに尽力致す所存です。今期一年間、何卒宜しくお願い申し上げます。



専務理事

松尾 智章

(53期)

今期専務理事を務めさせていただきます松尾智章です。昨年度は常務理事という立場で北青会の運営に携わってきましたが、正直、初めての三役ということ、学ぶことばかりでした。創立50周年という大きな節目でありましたが、会員の皆さんは言うまでもなく、

OBの皆さん、また市役所を始めとする関係諸団体の皆様の御陰を持つて、周年事業も無事に終えることができました。今年度は専務理事として上野会長を補佐し、三役、役員、また会員の皆さんと新たな一歩を踏み出していきたいと思えます。特に、公益法人制度改革により、平成25年11月30日までに新たな法律による社団法人の公益化または一般化の移行を行う必要がありますが、今期はその準備をする年でもあります。北青会の意義を見つめ直し、今後の北青会のあり方を模索する年でもあります。50年の伝統を守りつつ、新たな北青会への第一歩を、今季のテーマである「勇往邁進」の如く目標に向かい苦難を顧みず、ひたすら前進して行きたいと思えます。



常務理事

坂上 慎一

(53期)

この度、51期常務理事を務めさせていただきます。坂上慎一です。北青会51期という新たな一歩をむかえ、常務理事の立場として、これまで以上に上野会長を始めとする三役の皆様と役員ならびに会員の皆様の懸け橋として精一杯努めて行きたいと思えます。

現在東日本大震災により、日本全体が低迷している状況になりつつあります。被災地の皆様へは心よりお見舞い申し上げます。しかし、幸いにも私達が生活をしている北九州には被害はありませんでした。ですからこの北九州の経営者の集まりである北青会が、

地域を経済を盛り上げて元気に頑張りました。そして法人税をしっかりと払い復興の財源としてもらう事がまず私達にできる一番の貢献ではないでしょうか。今年度は東日本大震災の被災者の皆様への復興への様々な支援事業を上野会長のもと展開していくことになると思えます。今こそ全ての会員で力を合わせて、北青会魂を発揮し頑張ります。一年間よろしくお願いします。



事務局長

渡部 雅孝

(52期)

今期、事務局長を務めさせていただきます。52期の渡部と申します。私が北青会に入会させて頂き、今期が4年目の年になるのですが、今回事務局長という、重要な役を任命して頂き、大変光栄に思うのと同時に、北青会運営の

お手伝いを「しつかりやらなくてはいけない！」という責任のおもさに、身が引き締まる思いです。事務局の仕事とは、一見表には出ない「地味」な役割ですが、会の運営がスムーズに行われるためには、その裏方の仕事こそ、



活性化委員会委員長

本田 正二

(51期)

今年度、活性化委員長を務めさせていただきます。本田正二です。私は昨年まで社会貢献委員会に所属しておりました。今年度は新しく活性化委員会でお世話になる事になり、昨年以上に皆さんにご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、自分なりに精一杯頑張っていこうと思っております。

会員の増加は、例年思ったような人数が増えていないように思われます。これは北青会にとつて、とても大きな問題であります。どのようにすれば、会員増加につなげていくのか。大きな課題であります。私が考える原因の一つとして、北青会の知名度が低いのではないかと思います。

活性化委員会の主な役割として、会員の増加、拡大例会や夏のイベント・クリスマス例会などがございます。

今年度は多くの方々へ北青会を知っていただくような活動をしていきたいと思っております。また、夏のイベントやクリスマス例会などは、会員の御家族

なくてはならない重要な仕事だと考えております。一年間という短い期間ではありますが、私の信条でもあります、「好きか大好きかを生き様とし、嫌いをくらない。」この気持で何事にも前向きに臨んでいき、上野会長をはじめとする、今年の北青会をしつかりサポートして行こうと考えております。どうか皆さん今年一年宜しくお願い致します。

夏はイベントは私の次女も例年、参加させていただいていますが、お友達と一緒に遊んだ事がとても良い思い出になっているようです。そしてクリスマス例会も一昨年初めて参加させていただきました。毎年この日を楽しみにしております。

今年度は楽しむ側から、楽しめる側になるわけですが、日頃の感謝、お詫び！そして懺悔の！？気持ちを込めましてクリスマス例会を盛り上げたいと思っております。

私事ですが、北青会も今年で最後の年になりました。最後の年を後悔のないよう、猪年の突進を武器に頑張りたいと思えます。たまの暴走はお許しください！



広報メディア委員会委員長
福島 寛
(55期)

今期、広報メディア委員長を勤めさせていただきます福島と申します。

まず、この度の東日本大震災に起きまして被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

一ヶ月を過ぎてもなお被害の全容が見えず未曾有の大災害となつてしまいました



社会貢献委員会委員長
三木 貴之
(51期)

この度、51期社会貢献委員会の委員長を務めさせていただきます、51期の三木貴之です。宜しくお願いいたします。

今期の社会貢献委員会は、これまでの真価が問われる大切な年だと思えます。というのは、日本国内において過去に例を見ない

せん。会報誌はもちろんホームページや各メディアを通じて北青会の活動内容や地域貢献活動への取り組みなど広く広報活動を行ない関係諸団体をはじめ市民の皆様は北青会を知っていただけるよう勤めて参らなければなりません。以上のことは委員会をはじめ、会員の皆さんが一致団結し活動に当たらなければ行えないと考えます。一年間のご協力を心よりお願い申し上げます。

大災害が起きたからです。今、自分に何ができるのかを自問自答していました。自分には北青会の会員であることを通して、社会に貢献するという気持ちに胸の底から熱く湧き上がってきました。

誰しも熱い思い『情熱』を込めてこそ、人に感謝される貢献が出来ると思います。その時に最も自分が輝き、達成感が得られると思います。いままでも、そしてこれから、お世話になった諸先輩方はもちろん、現役会員のみんな、そしてこれから出会う方々との交流を通じて、自分を磨き、成長させていきたいと思えます。

会員のみんなとともに同じ時間を共有できることに幸せを感じながら、北青会活動に邁進していきます。



地域交流委員会委員長
松田 正
(52期)

51期地域交流委員会の委員長を勤めさせていただきます松田です。

北青会創立50周年の大きな節目を終え、新たな一歩を踏み出す51期地域交流委員会の委員長という大役を任せていただけたというのを、まず初めに感謝いたします。

私は北青会に入会いたしました。若千3年しか経っておりませんが、この3年間に様々な活動に携わってまいりました。当然委員長という立場ではなく一会員としての活動でした。先輩の様々なアドバイスを受け、知ら



例会運営委員会委員長
末広 崇
(52期)

第51期例会運営委員長を務めさせていただきます末広です。

北青会にとって例会は、我々経営者の勉強の場であることはもちろんのこと、各委員会がそれぞれ活動を行っている中、大半の会員

を踏み出す」も浮かんできました。いかなる困難にも勇敢に立ち向かう、これは今に始まったことではなくこの半世紀の間に、様々な諸先輩方が実践してくれていました。一人では成し得ないことであつたとしても、皆の力を結集すれば乗り越えられるものはないということに私はこの目で見てきました。この力の結晶が北青会であり、正に『勇往邁進』だと思っています。

私の力は微力ではありますが、私の回りには頼もしい仲間が大勢います。この仲間と一緒に頑張る困難にも立ち向かっていき、そして乗り越えていけると確信しています。

この51期は私にとつての北青会元年だと思ひ、今後の人生に於いても重要な一年間になるものだと考えて、勇往邁進していくと思ひますので今期一年どうぞよろしく申し上げます。

我々例会運営委員会が月一度の例会の重要さを改めて理解し、より魅力のある例会の演出、講師の選定が必須となります。己の未熟さゆえまだ講師探しに奔走している毎日ですが、例会運営委員会一同力を合わせて魅力ある例会を実現させてみせます。講師の紹介などございましたらぜひ例会運営委員会までご連絡ください。一年間よろしくお願い致します。

50期クリーンアップ 大作戦

50期地域交流委員会の最後の事業であるクリーンアップ大作戦が終わりました。

今期は北青会の50周年という節目

の年であり、それに伴い様々な事業が行われました。当委員会は防犯パトロールとクリーンアップ大作戦がメイン事業でありましたが、今期は各委員会の枠を超えて全ての委員会が一致団結をして、全ての事業をこなしてきた年でした。このクリーンアップ大作戦も大勢の会員に参加してもらい、清掃活動終了後には事務局の前に沢山のゴミが集められました。たばこの吸殻、空き缶、ペットボトル、スーパリーのレジ袋、それに家電製品などの粗大ゴミといったものが捨てられていました。最近捨てられたようなゴミや、ずっと前から放置されていたものもあり、毎年晴れやかな気持ちと残念な気持ちが入り混じった複雑な気持ちが残ります。少しの気遣いを私たちが常に持つていけば、こんなゴミは落ちていないはずなのですがこれが現実です。

この事業を通じて、『環境モデル都市』である私たちの街を本当に自慢できるような綺麗な街を目指したいと思います。

来期以降もこの事業の重要性をもっとよく考え、毎日の生活の中からクリーンアップ大作戦を実行して、続けていきたいと感じました。今期一年間地域交流委員会の事業にご協力していただきました全ての皆様に感謝いたします。

50期地域交流委員会
副委員長 松田 正



東日本大震災 献血・募金活動

去る3月11日に東日本大震災が発生致しました。未曾有の大震災に被災され、お亡くなりになられた方には、哀悼申し上げるとともに、一刻も早い復興がなされることを心よりお見舞い申し上げます。

甚大な被害に心が奪われるなか、「まず自分たちでお手伝い出来ることから始めよう」との50期田中会長と先輩方と現役会員の皆様にお願ひ致しました。すでに3月1日に当会の公式行事として、献血が実施されておりましたが、被災地では血液が不足するとのことで、今回は日時を定めずにお願ひしたにも関わらず、多くの方に参加をしていただきました。引き続き献血活動を行なっていきたいと存じます。

3月20日の地域清掃活動終了後のお昼時から夕方まで、22日は夕方から2日間、黒崎駅前ペデストリアンデッキにおきまして、OB会と現役会員の共同で募金活動を行ないました。特に20日は大雨だったにも関わらず、多数の方に参



田中前会長から北島前八幡西区長へ贈呈いたしました

加していただきました。多くの方の善意に支えられ、募金も2日間合わせて、¥153,407もの募金をお預かりすることが出来ました。心より感謝申し上げます。事務局に設置させていただいております募金箱や、会員有志よりお預かりした募金も含め、31日に総計¥298,543の募金として、50期田中会長より北島前八幡西区長に、震災復興募金としてお渡し致しました。

50期専務理事
阿部 達

50期反省会



去る3月24日、千草ホテルにて50期反省会が開催されました。大変ご多忙の時期にもかかわらず多くの先輩方、現役会員にご参加頂きました。

今年の反省会は3月11日に発生した東日本大震災に被災された方々へ哀悼の意をこめ参加者全員で黙祷し開会させて頂きました。

この反省会は、50期会員の卒業式という意味合いもあり、冒頭の会長挨拶では田中会長が思わず涙ぐんでしまう場面もありました。



今年の年満退会者は田中久也さん、三原崇敬さん、藤吉洋子さん、前田克彦さん、中西英介さん、山本大さんの6名です。感謝状と記念品を贈り、現役会員へ向け、今後の北青会活動への心構え

など大変重みのあるお言葉を頂きました。先輩方のお話を伺っていると、卒業される皆さんが本当に『北青会』のことを心から想っているのだと感じました。『50周年』という大きな記念事業を乗り越えられた皆さんの熱い想いは現役会員一同しっかりと心に受け止めて頂きました。

私自身、仕事の都合上、なかなか北青会の活動に参加することが少ないのですが、反省会での諸先輩方を見てみると、北青会を通じて本当に強い『絆』が生まれ、最高の『仲間』が出来るのだと思いました。

最後になりましたが、50期の先輩方、本当にお疲れ様でした。

50期例会運営委員会 磯部孝重

